

KEY TOPIC

新年を祝う1月号誌面に122人の首長が登場！ 地方自治体の信頼

2024年末に発行した『地域みっちゃん生活情報誌』1月号。新しい年を祝う各種企画で誌面が賑わうなか、目を引いたのは発行エリア首長による新年の抱負掲載です。地域の問題を掘り下げ、各地域で圧倒的な世帯到達率を誇り、安全安心な情報を担保する掲載基準を定めた『地域みっちゃん生活情報誌』が、地域の行政機関から深く信頼されているという証左です。

安全で深い地域情報が 行政に信頼される根拠

『地域みっちゃん生活情報誌』に掲載される全ての原稿は、当社が定めた倫理綱領によって掲載判断が行われています。「一、読者に対して、不安や悪影響を与えないものとする／一、品位を損なわず、公序良俗を守る／一、社会秩序を守り、関係諸法規に則る／一、社会道義を重んじ、偽りのない情報を提供する」と定められた倫理綱領は、情報を扱う当社の姿勢の根幹であり、読者、クライアント、地域社会に対する責任そのものです。この倫理綱領のもと、商法や民法、刑法などの基本法遵守に向けた全業種共通掲載基準を定め、さらに特別法を念頭に置いた業種ごとの掲載基準を定めることで、掲載情報を厳しく精査。各地域で圧倒的な世帯到達率を誇り、配布した各ご家庭で老若男女の幅広い読者が読むメディアとしての安全性を担保しています。

このような安全な情報掲載への確固たる姿勢と地域の情報にこだわった編集方針は、長年にわたって各地域で行政の信頼を得るための根拠となってきました。『地域みっちゃん生活情報誌』では、新首長の就任に伴う新たな決意を地域読者に伝える巻頭インタビュー記事、市区町村からのお知らせ広告を定期的に掲載しています。また、岐阜県で発行する情報誌では県広報を誌面で展開。滋賀県、三重県

の情報誌では毎月、知事のコラムが掲載され、当社が発行する情報誌のほとんどで発行エリアの市区町村長がコラムを連載しています。

多くの首長が誌面を通して 新年の挨拶を読者に伝える

こうした『地域みっちゃん生活情報誌』と地域の行政機関の信頼関係の深さを、華やかに彩るのが新年1月号です。例年、1月号では媒体発行エリアの知事や市区町村長から読者に向けた新年の挨拶を掲載しています。2025年1月号では当社が発行している76誌で合計122人の首長が登場。新しい年への抱負や希望、行政運営への決意などを語っていただきました。

また新年号らしく、2024年に就任した首長への就任インタビューを巻頭特集で行った情報誌も少なくありません。三重県で発行している『ほろんくらぶ』では2024年11月の桑名市長選で4選を果たした伊藤徳宇市長に、滋賀県で発行している『ぼてじゃこ倶楽部』でも米原市長選で初当選を果たした角田航也市長に巻頭インタビューを実施。市政運営の方針や熱い思いなどを、誌面を通して存分に話していただきました。

1月号の掲載には間に合いませんでしたが、11月下旬に新しく名古屋市長に就任した広沢一郎市長には、名古屋市内に本社を置く当社と



名古屋市内で発行する『地域みっちゃん生活情報誌』2月号では、大島社長による広沢一郎市長インタビュー記事掲載

して大島齊社長が自らインタビュー対談を実施。横浜市や大阪市に次いで全国第3位(東京特別区部を除く)の人口を有し、東海地方の経済・文化の中枢を担う名古屋市を率いることになった広沢市長の人となり、目指す市政について詳しく話を聞きました。この記事は、名古屋市内で発行している『地域みっちゃん生活情報誌』の2月号に掲載されています。

SNSなど一部インターネットメディアによるフェイクニュース拡散や詐欺広告の掲載放置など、情報の信頼性が揺らいでいる昨今。「危険な情報から身を守るは自分自身」という理論は、あまりにも無責任です。『地域みっちゃん生活情報誌』は、ニューメディアとのハイブリットを活かしつつも元来持っている厳格な倫理綱領と掲載基準で読者を守り、行政に信頼されるメディアであり続けます。



経験豊富、かつ即戦力の20名が加わりました

TOPICS

● 山梨、広島で新たに拠点拡大!

山梨県『ParuPi』『ピグレ』編集室(13名)、広島県福山市『えるびん』編集室(7名)の20名を迎えて、1月8日、名古屋 Marriott アソシアホテルにて入社式を行いました。開催に先立ち、後藤会長は新たに加わる仲間へ「家族」「同志」と呼びかけ、中沢和樹室長、平川彰信室長は、地域経済の活性化を掲げて力強く決意表明しました。門出を迎えた20名を、全社で応援していきます。

COLUMN

本気 こいつをつかまぬことには

本気になれば 自分が、世界が変わる

2月、プロ野球新加入選手を加え、春季キャンプが始まりました。キャンプでどれだけ自分を鍛えられるのか。なかなか芽が出ない選手と、キラリと光る選手に成長するのでは、どこが違うのでしょうか。野球と真剣に立ち向かう。それだけではあかんようです。

ど真剣で立ち向かう。「ど」がつかねば緩いです。ど真剣とは、燃えるような意欲や情熱を持って、「いま、ここ」を「真剣以上に真剣に」向き合って生きることです。その積み重ねが私たちの価値となって、人生のドラマを実り多い、充実したものにします。「もうあかん」と思ったところから、「本気」で鍛錬するのが「ど真剣」です。

- 本気になると
- 世界が変わってくる
- 自分が変わってくる
- 変わってこなかったら
- まだ、本気になっていない証拠だ
- 本気な恋
- 本気な仕事
- ああ
- 人間一度
- こいつを
- つかまんことには。

坂村真民先生の詩にあるように、本気になれば、自分自身が変わるとともに、世界の見え方も変わってきます。もし何も変わっていないとしたら、それはまだ本気になっていない証拠です。せつかくの人生、本気をつかんで人生を切り開きたいですね。

思いやりの心 「恕」の実践

あなたの今年の抱負は何ですか。私は24年の年頭、生き方を「それ恕なり」としました。「恕」とは思いやる心です。思いやる心とは二つの実践にあります。

一つは1日に100回以上「ありがとう」と言うことです。「ありがとう」とはあり得なきことが起こったことです。地球上には80億人以上が暮らしています。その中で、私と出会い、会話を交わし、縁を結んでくださったことに感謝する、それが思いやるということです。口に出さなければ、相手には伝わりません。だからこそ感謝の言葉を伝えるのです。

もう一つは、まだ道半ばですが、相手を全肯定することです。自分と生き方や考え方が違っ

た人であってもです。

そんなことは綺麗事、現実にはできるはずがない、そう思っていないか。そうかも知れません。しかし、考えてみてください。昨年、能登半島の地震、9月の豪雨が起きたときのことを。自分に何かできることはないかと、被災地に寄り添った日本人は多いはず。それが人というものでしょう。であれば、縁あって出会った人を認め、受け入れるのは当たり前のことです。

出合いを大切にする人は、人を大切にでき、人を大切にできる人は自分も大切にできます。全ての責任は誰のせいでもない、自分自身にあるのです。

どんな会話も、否定からでは前には進みません。だから、どんな相手でもご縁のある人を「認める」「全肯定」するのです。そんな度量が身につけば、私の人生も変わるのではないかと。そんな思いで、まずは相手を「認める」「全肯定」する。「恕」「思いやる心」とはそういうことではないかと信じ、実践しています。



雪の積もる岐阜城

寄り添う心 上機嫌の力

今年の目標は「寄り添う」としました。そのためには、もう少し人間を練り上げねばなりません。

今年で喜寿を迎えます。こんな歳になるまで、健康で生かしてもらえるとはいってもいかなかったのですから嬉しいですね。それも、若い優秀な仲間たちと一緒に働くことができる幸せに恵まれています。

「恨みは水に流し、受けたい恩は石に刻め」と申します。石に刻むとは忘れないことです。忘れないだけではあかん。それが喜寿という年齢です。恩はお返しせねばなりません。鬼籍に入っている方が多いなか、どうすれば良いのか。人間を練り上げて、「いま、ここ」でご縁をいただく人々を通して社会にお返しするしかありません。

私のモットーは上機嫌です。上機嫌で暮らしていれば、そこには笑顔が溢れます。人が集ってきます。それでも思うに任せぬことが起こりますと、一瞬にして上機嫌が吹っ飛んで、考え込んでしまいます。「上機嫌たれはどこに」と反省しきりです。では、どんな修養を積んだら、あいつは上機嫌な奴だと言われるようになるのか。それは本気を重ねることではないかと思っています。

私は児童虐待をこの世からなくすことに本気です。昨年11月には、日本中のシンボリック建物1,000カ所を児童虐待防止啓発活動のシンボルカラーであるオレンジ色に染める努力をしました。仲間たちが本気で取り組んでくれた結果、1,105カ所がオレンジ色になりました。

虐待だと思ったら児童自ら189番に連絡しましょうと訴える「189のうた」も広まっています。児童虐待は社会課題です。中広グループのモットーである諦めない姿勢で、本気でやり続けられれば必ず成就すると信じています。

継続は力なり 本気を鍛える

本気で取り組むために必要なものは何でしょうか。一つは熱量です。周りを巻き込んで、ムーブメントを起こすほど熱くなることです。

二つ目はスピード感です。今もどこかで起こっているかもしれない虐待をなくすには、今すぐに行動することが求められます。

三つ目は心の隙を埋めることです。これまでと同じやり方では虐待はなくなりません。何かに臆病になっている自分があるとしたら、まさしく本気ではないってことです。

私は全国5,000万世帯に『地域みっちゃん生活情報誌』をお届けしたい。30年前、岐阜県可児市で『かにさんくらぶ』を創刊した当時の部数は約3万部でした。約3万部を1,000倍以上にできるなんて、誰も思ってもいません。何度も心が折れ掛けたことが、2月号の総発行部数は1,336万部までできました。もうひと息です。

我々は「日本を元気にしたい」という使命を持っています。使命を果たすために、何があってもやり抜く覚悟です。その覚悟で実践するのが本気を鍛えることだからです。

読者に、クライアントに、地域社会に、ともに生きる同志(家族)と寄り添う。そして、いままじ人間を練り上げ、「本気」の自分になり寄り添いたいと思っています。

クリスマス謎解きイベントを実施

イベント

リアルとオンラインで顧客体験を向上

ジェイアール名古屋タカシマヤの来店促進施策の一環として、各売場の上位顧客の方を対象にした謎解きイベントの企画・ツール制作を担当いたしました。

館内各所にあるクリスマス装飾を巡りながら謎を解く流れで、装飾のコンセプトにまつわる謎を仕掛けることで、いつも以上に装飾への関心を高める工夫を凝らしました。また、たくさんのお客様に自宅でクリスマスをお楽しみいただけるよう、ジェイアール名古屋タカシマヤのシンボルである薔薇をキーワードに、館内装飾のモチーフでもあった星座を取り入れた謎をウェブ版でも制作。期間中は館内・ウェブの謎解きともに多くの方が参加し、クリスマスを楽しんでいただくことができました。

当社では季節イベントや会社・商品の特色に合わせたオリジナルの謎制作が可能です。イベントをご検討の際はお気軽にご相談ください。

(名古屋SP1課・鳥丸)



地元スイーツ店と贈るクリスマス

地域みっちゃく生活情報誌

QR読み込み数5,000超のプレゼント企画

「守山フリモ」12月号では、姉妹誌でも好評のクリスマスケーキプレゼント企画を実施。地元の人気スイーツ店6店舗に協賛いただき、華やかな表紙と誌面になりました。

応募サイトへ誘導するQRコードの読み込み数は5,200回、応募者数も3,100件を超え大盛況。雑誌全体に目を通していただくため、サンタのイラストを見つけた方が応募できるようにしました。

読者からは「当たったらうれしいなという気持ちで応募しました。ドキドキ感が楽しい!」「クリスマスケーキのプレゼントはすごい!」「ウキウキする号だった」などの感想が寄せられています。掲載店舗には、一番忙しい時期にプレゼント引換えというひと手間をおかけるため、なるべくご負担にならないよう細心の注意を払いました。

今後も読者に楽しんでもらう地域経済を回していけるように、魅力ある誌面づくりをしていきます。

(守山フリモ編集室・水鳥)



200号記念で200名に豪華プレゼント

地域みっちゃく生活情報誌

注目度の高いプレゼント企画で広告効果アップ

三重県津市で発行する「つうび〜す」は12月号で創刊200号を迎え、各店舗・企業に協力いただき、豪華プレゼントページを用意。編集室スタッフが欲しいと思う商品を各店舗に依頼しました。

プレゼント企画の次ページでは、飲食店に200号記念コラボメニューを用意いただき、特別感を演出。プレゼントは総勢5,000名近い応募で、「雑誌で見つけたヘアサロンに15年通っています」「つうび〜す」は私のバイブルです」など、感謝やねぎらいのメッセージが多く寄せられました。各店舗のウェブページへ誘導するQRコードも、多くの読者に活用いただきました。100件を超える読み込み数があった店舗が多く、お店・商品のPRになったと好評です。

今後も読者が求める企画を立案し、地元の人の生活に潤いを、そしてお店の商売繁盛のために、毎月心を込めて発行してまいります。

(三重中央エリア担当・廣田)



ビリケンさんと足リラシートが夢のコラボ!

SP

幸運を呼ぶ!? 遊び心満載のデザインが話題に

このたび、大阪観光の名物「ビリケンさん」と、フットケア商品「足リラシート」のコラボレーションが実現。大阪エリア限定商品の販売にあたり、パッケージデザインやプロモーションなどをお手伝いいたしました。

両足を前に出し座る姿と象徴的な足の裏という、ビリケンさんと足リラシートキャラクターの共通点に注目したポップで可愛らしいオリジナルキャラクターをメインに、キャッチーなコピーとデザインが印象的なパッケージが誕生しました。大阪らしいミックスジュースをイメージした4つの香りが1箱の中に入っており、その日の気分やシーンに合わせてリフレッシュできます。奇抜でちょっとコミカルな大阪らしいデザインと香りは、旅行のお供や大阪土産にもぴったり。ビリケンさんのご利益ステッカー付きで、福を感じながらリラックスタイムを楽しめます。ビリケンさんと足リラシートの世界観をより深く親しめる特設サイトも作成。上記QRコードからぜひご覧ください。

(名古屋SP1課・尾関)



CHUCO CLUB

2025年 年頭訓示ライブ配信

仕事始めの1月6日、後藤一俊会長、大島斉社長から中広グループ全従業員に向けて、年頭訓示をライブ配信しました。後藤会長は2024年を振り返り、「地域みっちゃく生活情報誌」第一号の『かにさんくらぶ』が30周年を迎えたことへの喜びを語りました。また、2025年のテーマを「寄り添う」とし、読者・クライアント・地域・社会に寄り添える集団でありたいと決意を表明しました。大島社長は「全員経営」「Data Driven」を掲げた2024年の成長をさらに飛躍させるべく、2025年をAI元年と位置付けました。そして、独自の生成AIでさらなる成長と飛躍を進める一年にするという方向性を示しました。

「挑戦を止めるまでは、失敗ではない」という強い意志のもと、中広グループは2025年も挑戦を続けてまいります。(総務人事部・酒井)

CHUCO GROUP CSR 当社では、地域社会への貢献に積極的に取り組んでいます

岐阜市立長森東小学校5年生が「SOSの出し方教育(学活)」、6年生が「子どもの権利条約(社会科)」を学習する際、弊社制作の啓発ソング「189のうた」を活用いただきました。「189のうた」は、児童相談所虐待対応ダイヤル189番の周知を目的としています。岐阜市では教育委員会を通して各校へ提供しており、児童のタブレットに保存されています。今後も児童虐待防止運動の一環として楽曲の無償提供を継続し、社会課題解決に寄与してまいります。

(広報・マーケティング担当 岡本)



▲児童の皆さんに楽曲に込めた思いを語りました。「189番を知っている人?」という問いかけに元気よく手が挙がり、認知度向上を実感しました

編集室開設のお知らせ

1月1日、ParuPi・ビグレ編集室(山梨)・えるびん編集室(広島)が、下記住所に開設しましたのでお知らせします。

ParuPi・ビグレ編集室

住所	連絡先
〒400-0041 山梨県甲府市上石田4-1-10	TEL 055-221-0682 FAX 055-221-0685

えるびん編集室

住所	連絡先
〒720-0061 広島県福山市丸之内1丁目3-9 3階	TEL 084-926-4526 FAX 084-920-0130

VCTOPIC

新潟県「まるごと上越!」株式会社上越タイムス社

お年玉クイズ特集で広がる広告効果

1月号で実施した「お年玉クイズ特集」は、広告をじっくり読むと解けるクイズに答えて応募すると、豪華賞品が当たる特別企画です。楽しみながら広告の内容に触れていたただけるため、高い広告効果が期待できます。

クイズの出題範囲は、生活に役立つ情報から店に関する豆知識まで多岐にわたり、毎年約2,000通の応募があります。掲載クライアントからは「広告内容をしっかり読んでもらえる」「幅広い年代へPRできる」と大好評で、広告をご掲載いただく件数も年々増加しています。

来年はまた新たなスタイルを導入して、地域の読者の皆さまにさらに楽しく読んでもらえる情報誌をお届けします。



▲1月号「お年玉クイズ特集」

部署だより NO.133

FM事業部

『Wao!Club』編集室



▲『Wao!Club』編集室のスタッフ

岐阜県大垣市・海津市・養老町・関ヶ原町・垂井町・神戸町・池田町・揖斐川町・安八町・輪之内町で94,460部発行する『Wao!Club』は、もうすぐ創刊23年目を迎えます。

これら岐阜県西濃エリアは、美しい自然と豊かな文化が魅力の地域です。長良川の清流や山々に囲まれており、なかでも配布エリアの90%以上を占める大垣市は、水資源に恵まれた「水の都」と呼ばれ、あちこちからきれいな地下水が自然に湧き出ています。

そんな美しい地域で地元の皆さんに愛され続けている『Wao!Club』。「毎月届くのが待ち遠しいです」「お店探しに困ったらまず頼ります」など、読者からうれしいコメントが続々届いており、私たち編集室の活力となっています。

今後もそんな地域とのつながりを大切に、地元の人々に愛される情報誌を目指してまいります。また、公式インスタグラムでも西濃エリアの魅力的なスポットを毎週紹介中。地域に寄り添うために、今日も西濃エリアを駆け回ります!(岐阜西濃エリア担当・浅田)

編集後記

年始、退職代行サービスへの依頼数が過去最多というニュースを目にしました。働き方の変化を感じると同時に、企業側も人材の確保・育成、そして働きがいのある環境づくりがこれまでに以上に重要になっているのではないのでしょうか。

当社では広告誌面のクオリティアップに注力するため、自社独自の生成AI「CAI(解)」の運用をスタートさせました。時間は有限です。ワークライフバランスが重視されるなか、いかに時間を有効に使い、クライアントや読者の皆さんへ還元していくのかを考え、導き出した答えがCAIです。

情報収集等、AIが得意な作業はCAIに任せ、社員はよりクリエイティブな業務に集中していく。このフレームワークで私たちのナレッジ、ノウハウ、テクニックなど持ち合わせる全てのものを地域の活性化に注いでいきたいと思います。

(広報・マーケティング担当 岡本)

HAPPY MEDIA

『ままこっこと®』

園児から家庭に直接届く子育て情報満載のフリーマガジン

【配布先】 県内全域の幼稚園・保育園・こども園	【発行時期】 年4回(1月・4月・7月・10月)
【設置先】 産婦人科・小児科・児童館・図書館・ショッピングモール等	【発行部数】 みやぎ版/25,000部 群馬版/60,000部 埼玉東版/25,000部
【仕様】 冊子A5版 オールカラー	ちば(中部版)/50,000部 ちば(北西部版)/50,000部 岐阜版/60,000部

『Start!』

進路選びを応援する高校生のための就職応援メディア

【配布先】 高校
【仕様】 冊子A4 オールカラー
【発行エリア】 山形県、群馬県、岐阜県、愛知県、三重県、滋賀県、鳥取県



『講演会インフォ』

ゲスト講師、タレント選びからイベント企画立案、当日の運営までサポートするネットワークサービス

【対応エリア】 全国	【登録講師数】 7,000名
【内容】 講演会・研修会・ウェブセミナー・コンサートの企画運営	【年間実施件数】 400件以上



キーワードや、ご予約ジャンルを絞って講師を検索できます

クーポンアプリ「フリモ」

ダウンロードはこちら (iPhone/Android)

フリーマガジンに掲載しているクーポンがスマホの中に! 切り取らなくてもスワイプで簡単に使える!

対応OS iPhone: iOS14.0以上 Android: 7.0以上
※ダウンロード数 476,776件(2025年1月22日現在)





土の香りがする地域に愛される媒体を目指し続けて『SARUBOBO』が実践する情報誌づくり

当社2誌目の『地域みっちゃく生活情報誌®』として1996年3月に創刊した『SARUBOBO』。日本一の面積を誇る高山市をはじめ、飛騨市、下呂市、白川村といった広大な飛騨エリアで約29年間、多くの地元読者に親しまれ、クライアントや行政に信頼いただく原動力となっている本誌の発行理念について、編集室の各スタッフが解説します。

徹底して地域に根を張る3つの編集方針の柱

岐阜県内の観光地である飛騨エリアで暮らす人々のために、地元的生活情報を届ける。これが『SARUBOBO』創刊時の思いであり、今でも大切にしている発行理念です。そのためには徹底して地域に根を張ることが必須であり、以下で解説する3つの施策をととても大切にしています。

細やかな地域情報の入手と記事掲載

連載企画「School life Report」では毎月、地元のスポーツ少年団や中学校～高校の部活動情報を発信しています。スポーツ少年団は3市の各協会にお声がけて競技が偏らないよう配慮。全国大会出場の情報などは新聞やSNSから入手したり、スタッフが子どもから得た情報、クライアントからの情報も参考にします。掲載場所はスクール企画の上に固定し、人気連載として定着しています。

をチェックして行政が取り組んでいる主要事業を把握し、課題解決のための誌面利用を促しています。



2024年12月号では高山西商工会とタイアップして地域を再発見するブックインブックを掲載しました

「大切な情報を市民に届ける」のは、行政の重要なミッションです。一方、地域で圧倒的な世帯到達率を誇り、地元読者に親しまれ、厳しい掲載基準をクリアして情報の安全性を担保した『地域みっちゃく生活情報誌®』だからこそ可能な強みでもあります。岐阜県の情報誌で掲載している岐阜県広報の実績など、姉妹誌には数々の行政広告や行政タイアップの事例があります。こうした事例を提示しながらプレゼンテーションし、掲載を重ねることでより深い信頼を得る循環を作っています。

商工会など地域の団体との関係性構築も行政と同様ですが、『SARUBOBO』ではスタッフが商工会青年部に入会することで、より深いつながりを作っています。(池田)

神は細部に宿るという意識を持ち、隅々まで地域の土の香りがする情報誌づくりに徹底してこだわってきました。AIをはじめ、各種社内システムや戦略HMCの活用など効率化と生産性の向上を推進しながらも、この雑誌づくりの理念は決して見失わず、今後も「あの人が載っている」と地域で話題になるような「地域の人生アルバム」であり続けます。

行政や地域の団体との綿密な連携

行政とは巻頭特集や各種記事掲載を通して関係性を深めています。そのうえで各課に顔を出すのももちろんですが、予算概要書や広報紙

地域読者の日常に寄り添うテーマ設定とコンテンツ

来年創刊30年を迎える『SARUBOBO』では、歴代スタッフの「地域を盛り上げたい」という地元愛を今日まで受け継ぎ、「井戸を掘った人」へのリスペクトとともに現スタッフの雑誌づくりの礎としています。地域の出来事や人々の暮らしなど、日常に注目したコンテンツを取り入れ、また地域振興や活性化に貢献することを目指し、飛騨に暮らす訪れる人に役立つ情報を収集し発信することで、地元の発展をサポートしています。

誌面のテーマ選びは、飛騨の季節感や年間行事を考慮した定番企画のほか、スタッフが持ち寄った最旬情報を企画会議で協議。全スタッフそれぞれの視点で深く話し合って決定しています。昨年11月号では、地元高校より周年記念事業の告知をしたいとの相談を受け、校長先生と記念事業実行委員会委員長、生徒会長による対談や学科紹介などの巻頭特集に続き、卒業生OB企業特集を実施。全16ページの特集には多くの在校生や卒業生に登場いただき、高校と地域読者に変えていただけました。(西)



2024年11月号では高山工業高校をテーマに巻頭から16ページの特集を展開

会社概要

商号 株式会社 中広 (CHUCO CO., LTD.)
東証・名証 証券コード【2139】

創業 1978年
資本金 4億430万円
従業員 461名 グループ全体 700名 (2025年1月末現在)

事業内容

フリーマガジン事業 イベント・セミナー事業
セールスプロモーション事業 通信販売事業
クロスメディア事業 VC事業(ボランタリー・チェーン)

理念 広告業を通して「地域社会への貢献」 (地方創生に!)

社是 人が命・人が宝・人が財産 (社員が輝く組織に!)
機会損失の排除 (モノ・トキ・ココロの無駄ゼロ)

社訓 飲水不忘掘井人 (感謝の心で!)

グループ会社

株式会社中広メディアソリューションズ https://chuco-ms.co.jp
株式会社ケイ・クリエイティブ http://www.k-create.co.jp
株式会社ケイビーエス http://www.post-kps.co.jp
株式会社 関西ばど https://www.kansaipado.co.jp

第47期 基本方針

スローガン Data Driven テーマ 全員経営

オフィシャル運営サイト

- 中広企業サイト ●中広採用サイト ●中広VCサイト ●フリモ(WEB)
- 講演会インフォ ●わくわく生活(楽天)他
- 販促blog ●HAPPY MEDIA GUIDE(情報誌見積サイト)
- ハッピーメディアの児童虐待防止運動 ●日本地域メディアネットワーク(JLMN)

公式アカウント

- Facebook ●YouTube
- Instagram ●X(旧Twitter)

リンク集はこちら

加盟団体

- JLAA 一般社団法人日本地域広告会社協会

2017年取得 **しるみて** 次世代育成支援対策推進法に基づく「くるみん」認定企業です

2016年取得 **女性が活躍しています!** 女性活躍推進法に基づく「えるほし」認定企業です

年	会社のおゆみ	HAPPY MEDIAのおゆみ
1978	設立 後藤次社長就任	
1983	求人情報紙事業開始	
1986	後藤一俊社長就任	
1993	イベント・セミナー事業開始	
1994		●岐阜県「かにさんくらぶ」創刊
1997		●滋賀県進出
1998	通信販売事業開始	
2006		●三重県進出
2007	名古屋証券取引所セントレックス上場	●50万部達成
2008		●福井県進出
2009		講演会インフォ公式ウェブサイト開始
2010		●100万部達成
2011	●児童虐待防止運動を岐阜県高山市で開始	●愛知県進出
2012	名古屋証券取引所第二部上場 VC事業開始	●全国展開開始(VG)
2013		●福岡県・山梨県・兵庫県・和歌山県進出 ●200万部達成
2014	東京証券取引所第二部上場	●山形県・茨城県・鳥取県進出
2015	東証一部・名証一部に市場変更	●300万部達成
2016		●栃木県・宮城県・新潟県・群馬県・大阪府進出
2017		●岐阜県広報「岐阜県からのお知らせ」掲載開始
2018	●児童虐待防止運動を全国へ展開	●北海道・埼玉県・佐賀県・香川県進出
2019	●愛知県交通事故死者数全国ワースト脱却CP開始	●500万部達成
2020	中島永次社長就任	●高知県・福島県・長野県・京都府進出
2021	●愛知県交通事故死者数全国ワースト脱却C達成	「ままこっこ」創刊
2022	岐阜市・笠松町とシティ・タウンプロモーションの推進に関する連携協定締結	●東京都・愛媛県・静岡県・宮城県・奈良県進出
2023	多治見市とシティプロモーションの推進に関する連携協定締結	●三重県「三重県からのお知らせ」掲載開始
2024	大島資社長就任	●大分県進出
	株式会社中広メディアソリューションズ設立	
	株式会社ケイ・クリエイティブ/株式会社ケイビーエス グループ化	
	株式会社関西ばど「グループ化」	
	●児童虐待防止運動の一環で「井っぽん」オレンジシンボル運動を開始	
	●児童虐待防止運動が文部科学省と子ども家庭庁の後援が活動に	
		●広島県・秋田県・千葉県・岩手県進出

*従業員数はグループ会社含む ●おもなCSR・CSV活動 ●地域みっちゃく生活情報誌®

営業拠点

<p>■ 本社 岐阜本社 岐阜市東興町27 名古屋本社 名古屋市中村区名駅1-1-1 24F</p>	<p>《福井県》 きらめきくらぶ編集室 敦賀市野沖40-277-2 1F TEL.0770-24-2622</p>	<p>ES部 岐阜市東興町27 4F TEL.058-248-5611</p>	<p>《三重県》 ほろんくらぶ編集室 桑名市殿町10 TEL.0594-25-9988</p>	<p>《奈良県》 かしろくらぶ編集室 橿原市葛木町260-1 1F TEL.0744-48-0606</p>	<p>■ VC事業部 岐阜市東興町27 4F TEL.058-247-2511</p>
<p>■ FM・SP事業部 《北海道》 SORA編集室 滝川市東町6-1-11 TEL.0125-74-6169 旭川市東光6条6-4-7 TEL.0166-85-6158</p>	<p>《山梨県》 ParuPi・ピグレ編集室 開設 甲府市上石田4-1-10 TEL.055-221-0682</p>	<p>EC部 大垣市加賀野4-1-13 TEL.0584-74-0745</p>	<p>Bellive club編集室 鈴鹿市神戸1-10-10 TEL.059-373-4400</p>	<p>《和歌山県》 まいななか・まいとん編集室 岩出市高瀬84-2 2F TEL.0736-67-7630</p>	<p>■ グループ戦略統括事業部 名古屋市中村区名駅1-1-1 24F TEL.052-562-2139</p>
<p>AO編集室 名古屋市中村区名駅1-1-1 24F TEL.0144-56-5704</p>	<p>《岐阜県》 GIFUTO編集室 岐阜市東興町27 4F TEL.058-247-2512</p>	<p>《愛知県》 NAGOYA FURIMO 各編集室 【中村・中川・港区版】 名古屋市中川区柳森町107 2F TEL.052-355-6111</p>	<p>よっかいちai編集室 四日市市鶴の森1-5-16 8F TEL.059-325-7562</p>	<p>《鳥取県》 つばさ編集室 鳥取市吉方温泉3-860 2F TEL.059-325-7562</p>	<p>■ 管理本部 経理部・総務人事部 岐阜市東興町27 2F TEL.058-240-4005 【購買流通課】TEL.058-246-0285</p>
<p>《宮城県》 とみずい!編集室 仙台市泉区泉中央1-33-7 2F TEL.022-341-4809</p>	<p>《静岡県》 はしまる編集室 大垣市加賀野4-1-13 【Wao!】TEL.0584-75-1960 【mintoup】TEL.0584-77-4088 【はしまる】TEL.0584-71-6226</p>	<p>緑区フリモ編集室 名古屋緑区大田1-150 2F TEL.052-829-0270</p>	<p>つっぴーず編集室 津市栄町1-840 5F TEL.059-213-7666</p>	<p>《広島県》 はつつか編集室 廿日市市新宮2-110 1F TEL.0829-30-6673</p>	<p>■ 総務本部 経理部・総務人事部 岐阜市東興町27 2F TEL.058-240-4005 【購買流通課】TEL.058-246-0285</p>
<p>《群馬県》 高崎フリモ 前橋フリモ編集室 高崎市新保町139-1 2F 【高崎フリモ】TEL.027-353-8714 【前橋フリモ】TEL.027-353-8711</p>	<p>《千葉県》 Wao!Club・mintoup はしまる編集室 大垣市加賀野4-1-13 【Wao!】TEL.0584-75-1960 【mintoup】TEL.0584-77-4088 【はしまる】TEL.0584-71-6226</p>	<p>山守フリモ アサヒトセト・ひまわりくらぶ編集室 伊勢市岩淵3-6-5 2F TEL.0596-63-8282</p>	<p>つっぴーず編集室 津市栄町1-840 5F TEL.059-213-7666</p>	<p>《徳島県》 さくらくらぶ編集室 徳島市山根540-1 4F TEL.0858-27-0510</p>	<p>■ グループ会社 株式会社関西ばど 本社 大阪府西区朝木町1-10-24 5F TEL.06-6479-3113</p>
<p>《東京都》 東京SP部 港区新橋2-16-1 9F TEL.03-6910-2940</p>	<p>《埼玉県》 クッキーズ・とねじん編集室 久喜市久喜中央2-8-23 3F TEL.0480-38-6881</p>	<p>守山フリモ アサヒトセト・ひまわりくらぶ編集室 伊勢市岩淵3-6-5 2F TEL.0596-63-8282</p>	<p>リーパークラブ編集室 名古屋瑞之台3番町36-1 TEL.0595-41-0156</p>	<p>《佐賀県》 月刊TOSS編集室 鳥栖市東町1-1064-15 1F TEL.0942-50-9619</p>	<p>■ 経理本部 経理部・総務人事部 岐阜市東興町27 2F TEL.058-240-4005 【購買流通課】TEL.058-246-0285</p>
<p>《新潟県》 おきく編集室 新潟市東区西新5-1-30 3F TEL.092-833-5250</p>	<p>《茨城県》 まなぶ・おるね編集室 宗俣市土俵1-3-34 1F 【むなぶ】TEL.0940-72-6101 【おるね】TEL.0940-72-6102</p>	<p>山守フリモ アサヒトセト・ひまわりくらぶ編集室 伊勢市岩淵3-6-5 2F TEL.0596-63-8282</p>	<p>からっと倶楽部編集室 尾鷲市坂場西町2-34 2F TEL.0597-37-4100</p>	<p>《福岡県》 マイタウン西区版編集室 福岡市早良区西新5-1-30 3F TEL.092-833-5250</p>	<p>■ 経理本部 経理部・総務人事部 岐阜市東興町27 2F TEL.058-240-4005 【購買流通課】TEL.058-246-0285</p>
<p>《石川県》 おきく編集室 石川県長崎町9-22 1F TEL.0749-26-0555</p>	<p>《静岡県》 おきく編集室 静岡市東区西新5-1-30 3F TEL.092-833-5250</p>	<p>ココン club・ちるるくらぶ 安城フリモ・北知多フリモ フリモから編集室 知多郡東浦町大字緒川字下沙田17-1 TEL.0562-85-1077</p>	<p>さくらくらぶ編集室 尾鷲市坂場西町2-34 2F TEL.0597-37-4100</p>	<p>《愛知県》 ほてじゃこ倶楽部編集室 長浜市宮町1161-7 2F TEL.0749-68-2577</p>	<p>■ 経理本部 経理部・総務人事部 岐阜市東興町27 2F TEL.058-240-4005 【購買流通課】TEL.058-246-0285</p>
<p>《富山県》 おきく編集室 富山県長崎町9-22 1F TEL.0749-26-0555</p>	<p>《千葉県》 おきく編集室 千葉市中央区西新5-1-30 3F TEL.092-400-5955</p>	<p>リブル倶楽部編集室 大山市松本町2-29 TEL.0568-39-6111</p>	<p>さくらくらぶ編集室 尾鷲市坂場西町2-34 2F TEL.0597-37-4100</p>	<p>《三重県》 三重SP部 四日市市鶴の森1-5-16 8F TEL.059-325-7562</p>	<p>■ 経理本部 経理部・総務人事部 岐阜市東興町27 2F TEL.058-240-4005 【購買流通課】TEL.058-246-0285</p>
<p>《山形県》 おきく編集室 山形市山根540-1 4F TEL.0858-27-0510</p>	<p>《東京都》 東京SP部 港区新橋2-16-1 9F TEL.03-6910-2940</p>	<p>岡崎フリモ編集室 岡崎市明大寺町字寺東9-1 5F TEL.0564-83-7121</p>	<p>さくらくらぶ編集室 尾鷲市坂場西町2-34 2F TEL.0597-37-4100</p>	<p>《滋賀県》 おきく編集室 栗東市手塚5-6-19 TEL.077-596-3335</p>	<p>■ 経理本部 経理部・総務人事部 岐阜市東興町27 2F TEL.058-240-4005 【購買流通課】TEL.058-246-0285</p>
<p>《宮城県》 おきく編集室 仙台市山根540-1 4F TEL.0858-27-0510</p>	<p>《埼玉県》 おきく編集室 久喜市久喜中央2-8-23 3F TEL.0480-38-6881</p>	<p>西尾フリモ・オレンジクラブ編集室 額田郡幸田町大字芦谷字毛倉62 1F TEL.0564-83-7763</p>	<p>さくらくらぶ編集室 尾鷲市坂場西町2-34 2F TEL.0597-37-4100</p>	<p>《福岡県》 おきく編集室 福岡市早良区西新5-1-30 3F TEL.092-833-5250</p>	<p>■ 経理本部 経理部・総務人事部 岐阜市東興町27 2F TEL.058-240-4005 【購買流通課】TEL.058-246-0285</p>
<p>《静岡県》 おきく編集室 静岡市東区西新5-1-30 3F TEL.092-400-5955</p>	<p>《東京都》 東京SP部 港区新橋2-16-1 9F TEL.03-6910-2940</p>	<p>名古屋SP部 名古屋市中村区名駅1-1-1 24F TEL.052-571-2139</p>	<p>さくらくらぶ編集室 尾鷲市坂場西町2-34 2F TEL.0597-37-4100</p>	<p>《佐賀県》 おきく編集室 鳥栖市東町1-1064-15 1F TEL.0942-50-9619</p>	<p>■ 経理本部 経理部・総務人事部 岐阜市東興町27 2F TEL.058-240-4005 【購買流通課】TEL.058-246-0285</p>